

令和2年度科学の甲子園ジュニアエキシビション大会実施要項

1. 令和2年度科学の甲子園ジュニアエキシビション大会について

新型コロナウイルス感染症緊急事態措置やそれに伴う休校が長期化した状況により、都道府県大会の実施が困難となり、それに伴い、第8回科学の甲子園ジュニア全国大会の開催も中止することとなった。代わりに、全国の中学1、2年生を対象に、理科・数学・情報をオンライン上で競い合うエキシビション大会を開催する。

2. 実施・協力体制

主催 国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）

共催 兵庫県、兵庫県教育委員会

後援 文部科学省（予定）、全日本中学校長会（予定）、
全国中学校理科教育研究会（予定）、公益社団法人日本理科教育振興協会
都道府県教育委員会及び協働パートナーの協力を得て開催する。

3. 開催日程

エントリー：令和2年11月16日（月）10:00から令和2年11月27日17:00まで

実施日時：

（オンライン開会式） 令和2年12月5日（土）13:00～13:30

（オンライン筆記競技予選） 令和2年12月5日（土）14:00～15:00

（オンライン筆記競技予選結果発表） 令和2年12月10日（木）15:00

（オンライン筆記競技本選） 令和2年12月12日（土）14:00～15:00

（オンライン表彰式（本選結果発表）） 令和3年1月12日（火）16:00～16:30

（特別体験プログラム） 令和2年11月16日（月）～12月21日（月）

（特別体験プログラム結果公開） 令和3年1月18日（月）から順次公開

4. エントリーについて

- ・ エントリーの単位は、1チーム3名以上6名以内とする（同一都道府県内であれば学校が異なっても編成可）。
- ・ エントリー資格は第8回科学の甲子園ジュニア全国大会と同様とする。
 - ・ 学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）に定める中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程、特別支援学校中学部（以下、中学校等）に所属する生徒で構成する。なお、構成員は中学校等での通算在籍が過去の在籍も含め2年未満の生徒とする。

- ・ 学校あたりの参加チーム数上限は設けない。
- ・ エントリー情報は都道府県教育委員会にも共有することとする。
- ・ エントリーはオンライン筆記競技と特別体験プログラムについて行う。特別体験プログラムのみ参加する場合もエントリーを行う。
- ・ エントリーは代表者（各学校の教員）が行う。まず、代表者エントリーを行い、次に代表者マイページからメンバー（参加生徒）エントリーを行う。メンバーエントリーを行うとメンバー用 ID/Pass が発行されるので、代表者からメンバー用 ID/Pass を各メンバーに連絡することとなる。具体的なエントリー方法は別添を参照。
- ・ 1 教員が複数チームの代表者となることも可能。なお、その場合は、異なるメールアドレスで代表者エントリーを改めて行う必要がある。

5. 競技内容

- ・ PC 等を用い、自宅や学校で筆記競技に取り組む形とする（オンライン筆記競技）。実施場所は学校の教室など実際にメンバーが集合できるかつ代表者も立ち会える場所を奨励するが、感染状況を踏まえて、代表者及び参加者が最終的に判断する。
- ・ オンライン筆記競技時のチームメンバー内の相談は可（感染状況によりビデオ会議や電話等も活用）。ただし、解答にあたって教科書、参考図書、WEB 上の情報、チーム外の人物からのアドバイスなどを参考にすることはできない。
- ・ 本大会は、生徒の自律性を育むため、不正監視のソフトウェアなどは導入せず、生徒が自らを律して競技に取り組む設計とする。代表者には、本趣旨に沿った指導を期待する。
- ・ オンライン筆記競技は予選と本選から成る。
- ・ 予選の結果により本選出場チームを選抜する。具体的には、以下のいずれかもしくは両方に該当するチームが本選に進むことが出来る。
 - ① 各都道府県内で予選 1 位のチーム
 - ② ①のチームも含めた全体予選順位で上位 50 位以内のチーム
- ・ 本選と予選の内容は以下の通り。

（予選）

 - ・ JST 指定の IBT (Internet Based Testing) で実施する。
 - ・ 6 分野（物理、化学、生物、地学、数学、情報）からそれぞれ出題する。
 - ・ 配点は各分野 50 点、合計 300 点とする。
 - ・ 解答形式が選択式、数値入力式、語句入力式の問題のみに限定して出題する。
 - ・ 競技時間は 60 分とする。
 - ・ 各分野におけるチーム内の最高得点を当該分野のチームの得点とする（例えば、物理分野において、A さん：10 点、B さん：0 点、C さん：0 点、D さん：30 点、

Eさん：20点、Fさん0点だった場合、物理分野におけるチームとしての得点は30点（チーム内の最高得点であるDさんの得点）となる。

- ・ 令和2年11月30日（月）10:00～12月4日（金）17:00の期間で、予選の事前体験が可能。なお、あくまで解答方法についての体験であり、問題の難易度確認の体験ではないことに留意すること。

（本選）

- ・ 本選の問題は本選システムからPDFファイルをダウンロードする。解答用紙は事前に配付されるWordファイルを使用する。答案の提出は本選システムから電子ファイルをアップロードする。答案の作成、提出の方法は以下の2種類とし、併用も可能とする。
 - ・ 事前に解答用紙を印刷し、手書きで答案を作成する。作成した答案をスキャン、または写真撮影をして、その電子ファイルを本選システムからアップロードする。
 - ・ Wordファイルを用いて電子的に答案を作成する。作成した答案をWord形式のまま、その電子ファイルを本選システムからアップロードする。電子的に答案を作成する際、コピー、貼り付けなどの操作や数式の入力などが必要となる場合があるので、それらの操作に習熟しておく必要がある。
- ・ 6分野（物理、化学、生物、地学、数学、情報）からそれぞれ出題する。
- ・ 配点は各分野50点、合計300点とする。
- ・ 予選と異なり、解答形式による出題問題の限定は行わず、様々な解答形式の問題を出題する。
- ・ 競技時間は60分とする。また、これに加え、答案の提出手続き時間も設ける。
- ・ 令和2年12月10日（木）15:00～12月12日（土）12:00の期間で本選の事前体験が可能。
- ・ 本選の具体的な実施マニュアルは、11月下旬頃を目処にマイページに掲載予定（全参加チームが参照可能）。前項の事前体験の期間が短いため、マニュアルは事前に確認しておくこと。

6. 特別体験プログラム

- ・ 科学の甲子園ジュニアの実技課題を体験してもらうため、特別体験プログラムを行う。
- ・ 実技課題は、各チームメンバーが自宅にいても、ビデオ会議や電話等でコミュニケーションを取りながら実施できる内容を出題する。
- ・ 実技課題に取り組む環境は同一ではなく、十分な公平性が担保できないため、実技課題の結果による順位付けや表彰は行わない。あくまで体験プログラムと位置づけ

る。

- ・ 実技課題は、代表者が代表者マイページからダウンロードし、メンバーに提供する形となる。
- ・ 実技課題に必要な材料は各チームで調達することとする。
- ・ 各チームは1ヶ月程度の課題研究期間に実技課題に取り組み、実施した結果（記録情報や動画、写真等）をJSTへ提出することとする。提出物は必ず代表者が内容を確認し、代表者マイページから提出を行う（メンバーからの提出は出来ない）。
- ・ 特別体験プログラムのみの参加も可能（オンライン筆記競技への参加は必ずしも必要ではない）。

7. 準備物

【オンライン筆記競技（予選）】

- ・ PCやタブレット、スマートフォンなどのデバイス。なお、競技への取り組みやすさの観点から、PCやタブレットなど画面が大きいデバイスを奨励。
- ・ PC等は必ずしも一人一台が必要ではないが、一人一台あるとそれぞれが並行して取り組むことが出来るため推奨する。
- ・ PC等の奨励スペックは以下の通り。
 - ・ CPU：各オペレーティングシステムの推奨スペック以上
 - ・ メモリ：各オペレーティングシステムの推奨スペック以上
 - ・ OS：Windows8.1、Windows10、Mac OS X、Android、iOS
 - ・ ブラウザ：Edge、Chrome、Safari いずれも最新バージョン
 - ・ 画面解像度：1280×800ピクセル以上
 - ・ その他：Javascriptが有効になっていること
Cookieを使用できる設定となっていること
- ・ インターネット通信が可能な環境が必要。

【オンライン筆記競技（本選）】

- ・ PCやタブレット、スマートフォンなどのデバイス。なお、競技への取り組みやすさの観点から、PCやタブレットなど画面が大きいデバイスを奨励。
- ・ PC等は必ずしも一人一台が必要ではないが、一人一台あるとそれぞれが並行して取り組むことが出来るため推奨する。
- ・ PC等の基本的な奨励スペックは予選と同様。これに加え、PDFの閲覧・印刷、Microsoft Wordの編集・印刷が可能なPC等であること。
- ・ 答案を手書きで作成する場合は、スキャンできる機器またはカメラが必要。
- ・ インターネット通信が可能な環境が必要。

【特別体験プログラム】

- ・ 実技課題に記載の製作材料や製作道具（いずれも容易に入手できるもの）

- ・ 動画撮影のためのカメラ等

8. 表彰等

- ・ 総合順位 5 位までを表彰する。
- ・ オンライン筆記競技（本選）の各分野の最上位チームを表彰する。
- ・ 表彰対象のチームは、協働パートナーから副賞を贈呈する。
- ・ 表彰対象のチームは、チーム名、学校名、都道府県名をホームページ等で公表する。
- ・ 各チームの成績（総合得点・順位、各分野の得点・順位）は、当該チームの代表者及び当該都道府県教育委員会へ通知する（本選進出チームの場合は予選及び本選の成績を、予選敗退チームの場合は予選成績のみ通知する。）。
- ・ 特別体験プログラムで提出された実施結果（記録情報や動画、写真等）はホームページ等で一般公開する。

9. 順位確定ルールについて

【オンライン筆記競技（予選）】

- ・ オンライン筆記競技（予選）の 6 分野の合計得点（以下、予選総合得点）の高い順に順位を付ける。
- ・ 予選総合得点と同じチームは同順位とし、以下順位の繰り下げを行う。

【オンライン筆記競技（本選）】

- ・ 総合順位の確定ルールは以下の通り。
 - ・ オンライン筆記競技（本選）の 6 分野の合計得点（以下、本選総合得点）の高い順に順位を付ける。
 - ・ 表彰対象となっている順位において、本選総合得点と同じチームが複数ある場合は、満点の分野の数が多いチームを上位とする。
 - ・ 前項の場合で、満点の分野の数も一致する場合は、満点に一番近い得点の分野の数の多いチームを上位とする。以下、差異が出るまで同様の方法により順位付けを行う。
 - ・ 前項の順位確定ルールでも、表彰対象の順位のチームが単独にならない場合は、予選総合得点が高いチームを上位とする。
 - ・ 前項の順位確定ルールでも、表彰対象の順位のチームが単独にならない場合は、予選の満点の分野の数が多いチームを上位とする。
 - ・ 前項の場合で、予選の満点の分野の数も一致する場合は、満点に一番近い得点の分野の数の多いチームを上位とする。以下、差異が出るまで同様の方法により順位付けを行う。
 - ・ 前項の順位確定のルールでも、表彰対象の順位のチームが単独にならない場合は同順位とし、以下順位の繰り下げを行う。この場合、副賞は通常より少

なくなる可能性がある。

- ・ 分野別順位の確定ルールは以下の通り。
 - ・ オンライン筆記競技（本選）の各分野得点の高い順に、各分野で順位を付ける。
 - ・ 表彰対象となっている分野順位において、当該分野得点が高いチームが複数ある場合は、予選の当該分野得点が高いチームを上位とする。
 - ・ 前項の順位確定のルールでも、表彰対象の順位のチームが単独にならない場合は同順位とし、以下順位の繰り下げを行う。この場合、副賞は通常より少なくなる。

10. その他

- ・ 参加チームには記念品を贈呈する（参加チーム全員にはオンラインで入手できる記念品を想定）。
- ・ PC 等の端末の準備及び通信費については参加者負担とする。

以上